

自治医大卒業生女性医師支援NEWS

令和4年7月 地域医療推進課発行

◇卒後ワークライフバランスについて考える会報告◇

6月18日(土)、「地域医療とワークライフバランス～それぞれのターニングポイント～」をテーマに「卒後ワークライフバランスについて考える会 2022 in Jichi」を開催しました。平成24年度から開催している本会も、今回で12回目の開催となりました。例年、医学部学生寮で開催しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年に引き続き、Web会議システムZoomを用いて開催しました。当日は116名(卒業生25名、学生81名、関係者10名)の参加がありました。

会の前半では、卒業生2名からご講演をいただきました。はじめに、川又あゆみ先生(島根県34期)にお話いただき、次に菅谷涼先生(栃木県37期)にご講演いただきました。川又先生は共働き家庭の様子を学生がイメージしやすいようにご自身の生活を具体的にお話くださり、また菅谷先生からはワークライフバランスの捉え方についてハッとした気づきを与えてくださるお話をいただき、参加者は熱心に耳を傾けておりました。

後半は意見交換として、Zoomのブレイクアウトルーム機能を用いて小グループに分かれ、参加している卒業生と学生でディスカッションを行いました。意見交換のテーマを「10年後のわたし」として、学生にとっての10年後＝地域医療従事期間(義務年限)が明けた頃の自分を想像してもらう機会としました。

チューターとして、医学部同窓会長の小野剛先生(秋田県6期)、十枝めぐみ先生(香川県13期)、横谷倫世先生(奈良県21期)、渡邊ありさ先生(埼玉県24期)、新井由季先生(栃木県25期)、末光智子先生(愛媛県27期)、山本智美先生(北海道33期)、中村香代子先生(埼玉県35期)、石原あやか先生(大分県36期)の9名の卒業生をお招きし、グループディスカッションを行いました。

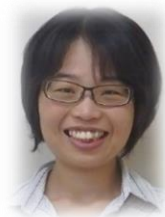
会の開始前には、卒後指導委員会女性医師支援担当教員が学生寮に出向き、参加学生へお弁当を配付しました。また、本会は医学部同窓会に協賛をいただいております。参加した学生全員にお菓子の差し入れをいただきました。この場をお借りして、深く御礼申し上げます。

次の開催は来年度を予定しております。今回参加できなかった方も来年はぜひご参加ください。



講演1「卒後のおはなし～私の場合～」

川又 あゆみ 先生
島根県34期卒業
広島大学病院勤務



講演2「ワーク・ワーク・バランスからの脱却」

菅谷 涼 先生
栃木県37期卒業
日光市民病院勤務



問合先 自治医科大学大学事務部地域医療推進課 担当：柳、太田
TEL：0285-58-7055 FAX：0285-44-6274 E-mail：chisui@jichi.ac.jp
女性医師支援 NEWS 隔月発行中！地域医療推進課のホームページからご覧いただけます。



自治医大 地推課

検索